

平成28年12月1日

伊那市子ども・子育て審議会長 様

保育園運営体制部会
部会長 倉澤 邦弘

保育園運営体制部会報告

保育園運営体制部会は、保育園の運営体制のあり方について検討した結果、下記のとおり意見をまとめましたので報告します。

記

「子どもが減っていく将来にあっても保育園を続けられる体制づくり」のために次のような取り組みが考えられる。

- 1 保育士が安定的に雇用される環境が充実すれば、保育士のなり手も増える。雇用環境が充実し、保育士という職業が魅力的なものとなれば、保育の質の向上やニーズへも柔軟に対応していける。
- 2 保育園は保護者や地域住民にとってなくてはならない存在であるため、閉園は避けたいという思いは尊重されるべきである。
- 3 小さな保育園であっても存続できるよう公立と私立のそれぞれの特徴を活かして、その役割と負担を持ち合うことで課題に対応していくことができる。
- 4 保育園にはそれぞれ園の特徴があり、この特徴は大切にし、より伸ばしていく必要がある。そうすることで他園との差別化が図られ、保護者の選択肢が増えることとなり、保育の多様性につながっていく。

○部会開催状況

- ・平成28年 7月 7日 第1回部会
- ・平成28年 8月25日 第2回部会
- ・平成28年10月 7日 第3回部会

○部会メンバー

部会長 倉澤 邦弘

小池 雅司、原田 信子、小椋 美恵、高木 悠大